

国際交流学科 3年

留学先：韓国

徳成女子大学

留学期間：2022年3月～2022年12月

今回の交換留学を通し様々な面で自分自身を成長させることができたと感じています。日本にいたころは実家暮らしで、性格も内向的であったため普段から活発に行動したり、一人で出かけたりすることはあまりありませんでした。ですが、韓国に来てからはそういうわけにはいきませんでした。フェリスからは一人しか行けず、日本人も他大学に比べて少ない大学であったため始めは頼れる人が少なく不安でいっぱいでした。このような環境は人によって良い影響、悪い影響を与えます。私自身は心配性な性格であるため理解できるまで検索をしたり、解決するまで行動したりしないと気が済まないタイプであったために一人でも様々な問題を乗り越えられたのだらうと感じています。しかしコロナによる行動制限によってホームシックになったり、毎晩泣く子もいたりすると聞いたことがあったため留学というのは本当に簡単なものではないと思いました。

もともとフェリスに入学したのは韓国語が学べて、留学制度が充実していたからであり、入学したら絶対に留学をしようと決めていました。大学1年生はちょうどコロナが流行し始めた頃でまともに大学に通うことができず、このまま留学もできないのではないかと不安に思っていました。2年生になり少しずつ日本でも韓国でも規制が緩くなってきた頃、交換留学の募集が再開され応募することにしました。応募を通過しても状況によっては行けない可能性は十分にあると言われており、常に不安な状態ではありましたが無事留学することができました。

留学前から韓国語に対する苦手意識はなかったのですが、現地の学生と同じ授業についていくことは不安だったため、前期は学部の韓国語の授業だけでなく語学堂にも通い韓国語のレベルを上げること、TOPIK6級を獲得することを目標とし、後期は学部の授業に集中し韓国の生活に慣れるという計画を立てました。語学堂は韓国に行くまで通うか通わないかかなり悩みましたが、実際に通ってよかったです。一番の理由は文化授業の存在です。語学堂では普段の授業のほかに1学期に2回文化授業があり内容は時期によって異なります。私自身外交的な性格ではないため、休みの日は部屋にいることが多いのですがこの文化体験で、一人で行くには難しいところや授業でなければ行かないような場所に行き、語学堂に通わなければできなかったことを体験することができました。また、多くの国の学生とも交流する機会となり、ご飯を食べに行ったり他大学の学園祭に行ったりと友達を作ることもできました。平日の9時から13時まで授業で課題が出たりととても大変でしたが、せっかく留学に来れたのだから成長して帰ろうという気持ちで乗り越えることができました。

10か月という期間は長そうでとても短い時間でした。授業が始まってすぐコロナになったりと問題はたくさんありましたが、振り返ってみると自分を成長させてくれた出来事であると感じます。今回の留学では語学はもちろんですが、「迷ったら行動に起こす」ということの大切さを学びました。やってみたいサークルの申し込みや仲良くなりたい子への声掛けなど私の性格上難しいのですが、勇気が出たころでは遅く後悔することが多かったです。先ほど述べた通り留学は難しいものであり簡単に勧めることはできませんが「迷ったら行動してみる」ということは強く勧めたいです。